

まちの話題

Topics of a town

みんなで長寿を祝おう ～「みんなの敬老会」を開催～

町と町いきいきクラブ連合会が共催した「みんなの敬老会」には、約400人が参加しました。歌謡舞踊や健康体操以外に、落語、阿久比中学校吹奏楽部の演奏、抽選会など、実行委員が考えた多彩なアトラクションで、会場は大いに盛り上がりました。

町いきいきクラブ連合会から、今年度100歳を迎える方へ表彰状と記念品の贈呈がありました。町内の対象者は7人で、敬老会には池田たつふ（たつた）さん（白沢台）、大村壽美子さん（福住）、竹内三代治さん（坂部）、深津まゑさん（白沢）の4人が出席しました。



〈阿久比中学校吹奏楽部の息の合った演奏〉



〈100歳を迎える方の表彰〉



〈アトラクションを楽しむ参加者〉



〈楽しいインタビュー〉

●オリンピックでの経験を語る



〈五輪での出来事について話す佐藤さん〉

8月にあったリオデジャネイロ五輪で、男子サッカー競技の主審を務めた国際審判員の佐藤隆治さんが9月6日、町長に五輪での経験などを報告しました。主審を務めた予選のデンマーク対南アフリカ戦や世界のトップレフェリーとの交流などを振り返り、「五輪では緊張もなくいつも通り判定に集中できた。他国の審判から学ぶことも多く、審判員としての経験値が上がった」と話しました。「目の前の試合に全力を尽くし、その積み重ねがロシアワールドカップや東京五輪につながれば」と力を込めた佐藤さん。現在は、ワールドカップアジア最終予選に全力を注いでいます。

●行事を通して一步成長



〈勇気を出しておばけ屋敷の中を進む園児〉

宮津保育園で9月1日、夏の恒例行事「おばけ大会」がありました。主役となる年長児らは、図鑑を見ておばけへの興味を深めた後、おばけ屋敷を制作し、自分たちはおばけを装って小さい園児らを驚かせました。おばけ屋敷の最後には、絵本『でた！かっぱおやじ』に登場する、かっぱの神様“せんのしんじゅさま”が待っており、勇気を出して自分の名前と頑張りたいたことを告げることができた園児らには、“勇気のあめ”がプレゼントされました。無事におばけ屋敷から外に出た園児らは、「怖かったけど、がんばったよ」と満足そうな表情を浮かべていました。